



令和2年度
地方独立行政法人奈良県立病院機構
看護教員 採用試験案内
【1月試験】

令和2年12月22日
地方独立行政法人奈良県立病院機構
法人本部事務局

受付期間 令和3年1月5日(火)～令和3年1月13日(水)《必着》
試験日 令和3年1月23日(土)

1 募集内容

募集職種	看護教員
職務内容	看護専門学校における専任教員業務等 ※一定期間経過後、病院における看護業務等に従事する場合があります。
勤務地	奈良県立病院機構看護専門学校に勤務します。 ※一定期間経過後、地方独立行政法人奈良県立病院機構が運営する他の施設（奈良県総合医療センター・奈良県西和医療センター・奈良県総合リハビリテーションセンター）に人事異動の可能性があります。
募集人員	1名程度

2 受験資格

(1) 次の要件をすべて満たす人が受験できます。

- ①令和3年4月1日現在年齢60歳未満（昭和36年4月2日以降生まれ）の人
- ②看護師免許を有する人
- ③専任教員の資格を有する人（注1）、または、令和3年3月までに取得見込みの人

（注1）専任教員の資格を有する人

- ・保健師、助産師又は看護師として5年以上業務に従事した人で、専任教員として必要な研修（注2）を修了した人
- ・保健師、助産師又は看護師として保健師助産師看護師学校養成所指定規則別表3の専門分野の教育内容のうちの一つの業務に3年以上従事した人で、次の（ア）（イ）のいずれかに該当する人
 - （ア）大学において教育に関する科目（教育の本質・目標、心身の発達と学習の過程、教育の方法・技術及び教科教育法に関する科目）を履修し、合計4単位以上取得して卒業した人
 - （イ）大学院において教育に関する科目（教育の本質・目標、心身の発達と学習の過程、教育の方法・技術及び教科教育法に関する科目）を履修し、合計4単位以上取得した人

（注2）専任教員として必要な研修

下記（ア）から（ウ）までのいずれかの研修のことをさします。

- （ア）厚生労働省が認定した専任教員養成講習会（旧厚生省が委託実施したもの及び厚生労働省が認定した看護教員養成講習会を含む。）
- （イ）旧厚生労働省看護研修研究センターの看護教員養成課程
- （ウ）国立保健医療科学院の専攻課程（平成14年度及び平成15年度 旧国立公衆衛生院の専攻課程看護コースを含む。）及び専門課程地域保健福祉分野（平成16年度）

(2) 次のいずれかに該当する人は受験できません。

- ①禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- ②奈良県立病院機構において懲戒処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人
- ③日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

(3) 日本国籍を有しない人については、在留活動に制限のない在留の資格を有する人に限ります。

3 試験日程・試験内容・合格発表等

書類選考	提出された応募書類により書類選考を行います。 書類選考の可否は応募者全員に郵送で通知します。 (令和3年1月20日(水)頃に通知予定)
口述試験	書類選考合格者に対して個別面接を実施します。 ◇実施日：令和3年 1月23日(土) ※実施時間については、書類選考合格者に通知します。 ◇試験会場：奈良県立病院機構 医療専門職教育研修センター (奈良県奈良市七条西町2丁目897-5 奈良県総合医療センター内)

4 受験手続き

受付場所	地方独立行政法人奈良県立病院機構 法人本部事務局 人事給与係 〒630-8581 奈良県奈良市七条西町2丁目897-5 TEL 0742-81-3400(直通)
受付期間	令和3年 1月 5日(火)～ 1月13日(水)《必着》 ※受付期間最終日(午後5時まで)の必着です。受付期間以外は受付できません。
申込方法	受付期間中に、必要書類を受付場所まで持参または郵送してください。 ○持参の場合 平日の午前9時から午後5時まで(正午～午後1時を除く)。 土曜・日曜・祝日は受付できません。 ○郵送の場合 封筒の表に「看護師養成所・受験申込」と朱書きし、簡易書留など配達記録が残る方法で郵送してください。 受付期間最終日近くに郵送する場合は、必ず速達扱いで送ってください。
必要書類	① 受験申込書(様式1) ・2ページ(表裏)とも記入。署名欄は必ず自署。写真貼付。 ② 職務経歴書(様式任意) ・A4用紙1～3枚程度。手書きでもパソコン入力でも可。必ず氏名を記載。 ・各勤務先の名称(医療機関の場合は病床数)、在職期間、具体的な業務内容のほか、業務の中で自身が挙げた成果についても具体的に記載してください。 ③ 応募論文(様式任意、1,200字程度) ・題目「看護師養成所としての役割と、その組織に求められる教員の役割について」 ・組織と教員のふたつの役割について記載してください。 ④ 返信用封筒1通 ・23.5cm×12cmの定形封筒1通に切手374円分を貼付し、送付先(申込者)の住所・氏名を明記。 ⑤ 免許証の写し(A4版に縮小してください) ・保健師・助産師・看護師の免許のうち、取得している免許全ての写し。 ⑥ 専任教員養成講習会修了(見込み)証明書、または、 大学等での必要科目の履修(見込み)証明書 ・大学等での履修(見込み)証明書を提出する場合には、履修した教育に関する科目の内容を表す書類(シラバス等)を併せて提出してください。 様式は奈良県立病院機構ホームページ(http://www.nara-pho.jp/)からもダウンロードできます。

5 合格から採用まで

合格発表	令和3年 2月 5日(金) <予定> ※口述試験受験者全員に合否通知を郵送します。また、合格者の受験番号を奈良県立病院機構ホームページ(http://www.nara-pho.jp/)にも掲載します。
------	---

採用予定日	令和3年4月1日 または 令和2年度中途採用（相談に応じます）
	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得見込みで受験した人は、資格取得できなかった場合は採用されません。 ・日本国籍を有しない人は、採用時に「在留活動に制限のない在留の資格」がない場合には採用されません。 ・合格者には、職務遂行に必要な健康状態を有するかどうかの判断を行うため、健康診断を実施します。 ・合格者には、院内感染対策の観点から血液抗体価等の証明（麻疹・風疹・水痘・流行性耳下線・B型肝炎）の提出を求めます。 ・受験申込書類の内容に虚偽があった場合は、採用される資格を失うことがあります。

6 採用後の待遇 ※この内容は、令和2年4月1日現在のものです。

初任給等 (目安)	<p>基本給：地方独立行政法人奈良県立病院機構の規程により、学歴・職歴等を勘案して決定します。</p> <p>【参考例】3年制の看護師養成機関を卒業して看護師資格を取得後、看護師等の実務経験を10年有し、専任教員として必要な研修を修了した場合 基本給 289,000円+地域手当 14,450円 計 303,450円</p> <p>※初任給には、職務経験がある人は加算があります。上記の加算額は例示であり、職務経験の内容・期間等によって異なります。 ※定期昇給：年1回（4月）</p>
諸手当	扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外（超過勤務）手当など
賞与	年2回（6月・12月）支給 年間4.4ヶ月分（令和元年度実績）ただし、在職期間等に応じて変動。
勤務時間	8：30～17：15（休憩1時間） 週休2日（土・日）
休暇	年次有給休暇（年間20日）、夏季休暇 このほか、病気（けが）休暇、結婚休暇、産前産後休暇（産前8週・産後8週）、ボランティア休暇、介護休暇など
子育て支援	育児休業（子が3歳まで）、つわり休暇、妊婦の通勤緩和休暇、育児時間休暇、育児のための部分休業、子どもの看護休暇など、子育てと仕事の両立を目指す職員をサポートします。総合医療センター、西和医療センターに院内保育所あり。
社会保険	地方職員共済組合（健康保険・厚生年金）、公務災害補償、雇用保険
健康管理	定期健康診断（年2回実施）、希望者に対する各種がん検診、人間ドック受診への助成など
福利厚生	職員や家族のための給付・貸付制度等があり、安心して仕事ができる環境が整っています。
その他	大学等への進学などによる自己啓発休業制度など、働きやすい職場環境づくりとキャリアアップ・スキルアップを支援しています。

7 試験実施等にかかる連絡について

天候・交通等の事情により、試験実施等について連絡がある場合は奈良県立病院機構ホームページ（<http://www.nara-pho.jp/>）に掲載しますのでご確認ください。

8 その他

(1) 注意事項

- ①試験当日は、受験票、筆記具を必ず持参してください。
- ②試験当日のゴミは、各自持ち帰ってください。
- ③試験会場は駐車できませんので、公共の交通機関を利用して試験会場に来てください。

(2) この試験の受験者は、合格発表の日から1月間、試験の結果（総合得点及び順位）について、地方独立行政法人奈良県立病院機構個人情報取扱規程に基づき、口頭により開示を請求することができます。

開示を請求する場合は、あらかじめ電話連絡のうえ、受験者本人が、本人であることを証明する書類（運転免許証等）を持参し、平日の午前9時から午後5時までの間に、奈良県立病院機構法人本部事務局へお越しください。なお、電話等による請求はできません。